

11 月 21 日：VN 指数は続伸 (VN-Index +0.62%)

- 昨日の堅調な値動きを引き継ぐ形で VN 指数は上昇して取引を開始。その直後の午前中の ATO セッション内では、本日の高値が記録された。
- しかし、その後は薄商いの中、売り圧力が徐々に強まり指数は下落していった。
- 午後には一時、前日終値に迫る下落が見られたものの、何とか持ちこたえた。その後は一転して買戻しの動きとなり、引けにかけては上昇し取引を終了。
- セクター別では多くのセクターが買われ、特に石油・ガス、通信が相場全体の上昇を牽引した。その一方で、メディアは唯一下落したセクターとなった。
- 昨日よりも上昇銘柄は増加し、333 銘柄が上昇、173 銘柄が下落、92 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 12.3%減少し、売買代金は 14.9 兆ドンとなった。

VN30 指数は反発 (VN-30 +0.52%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 22 銘柄、下落が 5 銘柄、3 銘柄が変わらずと、買いが優勢となった。
- BID (+1.85%) や MSN (+1.57%)、HPG (+1.50%) などが上昇。
- 一方、最も下落幅が大きかった銘柄は BCM (-1.95%) だった。

セクター・個別株の動き

- HBC (+6.88%) は昨日に引き続き好調に推移し、ストップ高となった。直近の取締役会決議によれば、合計 2 億 5000 万株以上の株式が新規発行される予定で、売り出しには外国投資家 2 社が参加する予定。売り出しの最低価格は 1 株当たり 12,000 ドンで、本日の終値よりもさらに約 54%高い水準となっている。
- HPG (+1.50%) は投入資材コストや電気料金の値上がりを背景に、同社子会社取扱製品の販売価格値上げを発表した。これにより、売上原価上昇の消費者への転嫁による利益改善が期待され、投資家たちからの注目を集めた。

- 外国人投資家は 5,683 億ドンの売り越しとなった。個別銘柄では SSI に買いが集まっていた一方、VPB や VNM は大きく売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。